

ふかがわ 市議会 だより

第2回定例会(令和8年6月16日～24日)

- ◆議会報告会を開催しました……………2～3P
- ◆議員定数を維持することに決定……………4P
- ◆可決した条例、決議など……………5～7P
- ◆一般質問……………8～15P
- ◆9月定例会の予定など……………16P

No. 265 2026・8

発行 深川市議会
令和8年8月6日発行
編集 広報編集委員会



議会報告会の様子（令和8年6月3日開催）



第2部 意見を聴く会

みなさんからいただいた意見のうち、特に多かったものを4つの区分に分けて紹介します

環境・安全対策

- ▼カラスやキツネへの餌やりについて、町内会長を通じて注意してもらったが改善しない。市としても注意喚起してほしい。
- ▼高齢化が進む中、**ごみステーションの除雪**に苦労しているため、雪を置いていかないよう配慮してほしい。
- ▼有害鳥獣対策を強化してほしい。

公園整備

- ▼公園にあったあずまやが撤去された。暑さをしのげる**木陰のある公園**を造ってほしい。
- ▼グリーンパークなど水に親しむはずの公園が水の出ない状態となっている。暑い夏に子供が**水辺で遊べる**ようにしてほしい。
- ▼1〜3歳の**小さい子供が遊べる公園**がない。

まちづくり・施設

- ▼**まちなか交流施設「ふかふか」**の必要性や運用に疑問を感じている。
- ▼**空き家対策やコンパクトシティ**が必要では。
- ▼将来、子供たちが負担することになる**公共施設の維持管理**について、その在り方を整理すべきでは。

公共交通・移動手段

- ▼音江方面の路線バス滝深線が廃止された後、**小型バスの運行やライドシェア導入**を検討できないか。
- ▼**市内循環バス**は市内中心部が主で、少し離れたところの人は利用しづらい。
- ▼通院などの移動手段として、**スクールバスに大人も混乗**することができないか。

みなさんの主な感想

- ▼少人数のグループに分かれて行われた意見を聴く会は、**話しやすい雰囲気**でよかった。
- ▼もっと**市民の話を聴く機会**を設けてほしい。
- ▼このような取組は、**深川のことを考えるきっかけ**になるので、今後も継続してほしい。
- ▼開催日時が平日の18時から20時では、参加できない人もいます。**時間帯や回数、ZOOMなどの活用**についても検討してほしい。



山本副実行委員長

多くの意見・要望が寄せられました。いずれも貴重な内容であり、今後、行政と議会が連携し、課題解決に取り組む必要性を改めて確認しました。

今回寄せられた意見・要望を真摯に受け止め、今後の議会活動に生かしてまいります。

第1部 委員会報告

各委員会による 主な報告内容

消費増税を除き30年振りの水道料金値上げ
収入不足と受水費の増加により、老朽化した水道管の更新が滞ることや将来世代への負担増等が懸念されるため、令和8年4月からの水道料金改定について賛成多数で可決しました。

北新小学校の統廃合
スクールバスの運行や学童保育の継続、教育環

境の変化による児童の精神的負担の軽減策などを確認し、令和9年4月からの統廃合について全会一致で可決しました。

まちなか交流施設整備を含む過去最大規模の予算
令和8年11月オープン予定のまちなか交流施設「ふかふか」は、国の補助金などを活用し、市の負担をなるべく抑えて整備されます。また、国の重点支援地方交付金を活用した各事業費、水道管改修工事の実施など、増

額要因を明らかにした上で、全7会計予算について、全会一致または賛成多数で可決しました。

議会基本条例の策定とペーパレス化の推進
議会改革の取組では、市民への情報公開や説明責任、市長との健全な緊張関係の保持といった議会の基本的な姿勢や守るべきルールを定めた議会基本条例を策定します。また、本会議や委員会におけるペーパレス化に引き続き取り組みます。

みなさんからいただいた主な質問

- Q** 水道料金の値上げは、今後の人口減少も踏まえて検討されたのですか。
- A** 料金改定は、人口減少による料金収入の減少が要因の一つであり、将来の人口減少も見据えて検討しました。
- Q** 深川市の財政赤字が全道で2番目という報道があったと聞きましたが本当ですか。
- A** 人口減少に伴い税収が減少するなど厳しい状況はありますが、現時点で赤字という事実はありません。

6月3日(水)

午後6時～午後8時

経済センター
3階・多目的ホール

参加者：29人

今回の議会報告会は、各委員会の活動報告に加え、少人数のグループに分かれて、意見を聴く会を初めて実施しました。

意見を聴く会では、「深川の暮らしでもっとよくしたいこと」をテーマに、皆さんが日頃感じている困り事や、まちへの関心事などについて、率直な声を聴かせていただきました。

今号では、参加者の皆さまから寄せられた質問や意見などを中心に御紹介させていただきます。なお、当日の配付資料や実施報告書を市議会ホームページに掲載しています。



有働実行委員長

意見を聴く会の様子





※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、決議、議員発議、人事案件以外のものを付議事件としています

条 例	補正予算※	決 議	議員発議	人事案件	付議事件※
2件	3件	1件	1件	32件	11件

Pick Up

議員発議

パブリックコメントで寄せられた意見を踏まえ
深川市議会基本条例を可決しました

パブリックコメント（意見募集）の結果

◆意見募集の趣旨と考え方

本条例案の作成にあたっては、その趣旨や目的、内容などを事前にお知らせし、市民の皆さんから幅広く意見をいただくため、パブリックコメントを実施しました。寄せられた意見の概要と、それに対する議会の考え方については、市議会ホームページで公開しています。

◆パブリックコメントの結果

パブリックコメントは、令和8年4月30日（木）から5月29日（金）までの30日間実施し、6件の意見が寄せられました。

このうち、人権の尊重やハラスメント防止に関する意見を踏まえ、これらは議会及び議員が当然に果たすべき重要な責務であるとの認識の下、あらゆるハラスメントの防止に関する規定を新たに盛り込みました。

パブリックコメントの結果はこちら▶



第2回定例会において全会一致で可決

6月24日の第2回定例会最終日、議員発議によって深川市議会基本条例について、全会一致で可決しました。

◆今後の展開

深川市議会基本条例では、「市民の代表としてどのような姿勢で活動していくのか」「市民の声をどのように市政に反映していくのか」「市議会として果たすべき責任」など、議会運営の基本となる考え方や議会が守るべきルールを定めています。

今後も、社会状況の変化や市民の皆さんの声を踏まえながら、必要に応じて条例内容を見直し、より開かれた、信頼される議会運営を一層進めていきます。

条文及び逐条解説はこちら▶



第2回定例会

深川市議会基本条例を可決しました

どうするの？ 議員定数

6月5日、市内各団体の代表者の皆さんと意見交換を行いました。こうした市民の皆さんの声を踏まえながら、議員定数の在り方について検討を進めてきました。

市内各団体との意見交換会



議員定数は条例で定められており、その内容を定めるのは深川市議会です。市議会ではこれまでも、その時々状況に応じて、議員定数の在り方について話し合いを重ねてきました。

こうした中、令和5年執行の市議会議員選挙が無投票となったことや、同年に「議員定数の削減を求める陳情」が提出されたことを受け、人口減少や社会環境の変化を踏まえながら、令和9年6月の次期改選に向けて、現在の定数が本市にとって適切であるかを改めて検討してきました。

その結果、議会の役割や深川市の地域性、他市の状況などを総合的に勘案し、現在の議員定数14人を維持していくことを、議会運営委員会において決定しました。

定数維持の理由 4つの視点

- ① 議会の役割
市の取組を適切にチェックし、市民の皆さんの様々な意見を市政に反映させるためには一定数の議員が必要
- ② 委員会の機能
議案や政策課題について、継続的に調査や審査を行う委員会の働きを十分に保つため、現在の二委員会制を維持することが大切
- ③ 地域性への配慮
それぞれの地域の声をしっかりと受け止め、市政に届ける役割が求められている
- ④ 類似市との比較
人口規模が近い他市と比べても、深川市の議員定数は特に多い水準ではない

人口減少だけを理由に定数を削減するのは適切ではない。議員がより多くの市民の声を行政に届けるためにも現在の議員定数がよい。

過疎化や高齢化が進む地域では議員と住民が接する機会が重要。人口だけでなく面積も考慮すべきである。

人口減少や産業構造が変化する中、議会も合理化を進める必要がある。工夫すれば議員数を減らしても市民の意見は集約できるのではないかと。

議員の皆さんには深川の町なかをどうするのかという問題を真っすぐ見て、中身の濃い議論をしてもらいたい。

意見交換会では

こんな声をいただきました

類似市と比較しても議員数は多くない。深川市の地理的環境や多様性を重視する観点からも現状維持が望ましい。

意見交換会



＜参加団体＞

深川市町内会連合会連絡協議会、深川市シルバークラブ連合会、深川市男女平等参画推進協議会、深川商工会議所、きたそらち農業協同組合、きたそらち農業協同組合青年部深川支部、深川市内J A女性部連絡協議会、連合北海道深川地区連合会

次期市議選は現状の定数14人を

維持することに決定

【主な議案】

■深川市議会議員佐々木一夫君
に対する問責決議

全会一致

(問責決議全文)

佐々木議員は、令和8年第2回市議会定例会における一般質問において、十分な事実確認及び調査を行わないまま、事実に対する内容を前提とした質問を行った。

その後、議会運営委員会において、同議員から提出のあった関係書類等を確認した結果、当該質問は事実誤認に基づくものであることが確認されたため、同議員から、本会議において訂正を行いたい旨の意向を確認した。

しかしながら、同議員は前言を翻し、自らの調査不足及び事実確認の不十分さについて謝罪するどころか「私は、市民からの情報に基づき質問しただけ

だ」と述べるなど、自らの責任を第三者へ転嫁する発言を行った。

議員には、自らの発言に責任を負うとともに、市民から得た情報についても十分な調査及び裏づけを行った上で質問を行う責務がある。同議員はその責任を果たさず、さらに訂正・謝罪の場が用意されていたにもかかわらず真摯な反省を示さなかった。この行為は、市議会に対する市民の信頼を損ない、議会の品位及び秩序を著しく害するものである。

よって、佐々木一夫議員に対し、自身の発言責任について強く反省を求め、問責するものである。

提出者からの提案説明後、佐々木議員から問責決議に対する発言がありました。

その後、採決に入り、全会一致で原案のとおり可決しました。

■教育委員会委員の任命

宮田 嘉明さん

同意

教育委員会委員 宮田嘉明さんの任期満了に伴い、引き続き同氏を任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

■公平委員会委員の選任

佐々木弘有さん

同意

公平委員会委員 佐々木弘有さんの任期満了に伴い、引き続き同氏を選任したいとの提案があり、賛成多数で選任に同意しました。

■固定資産評価審査委員会委員の選任

村上はるみさん

同意

固定資産評価審査委員会委員 村上はるみさんの任期満了に伴い、引き続き同氏を選任したいとの提案があり、全会一致で選任に同意しました。

意見書6件を全会一致で可決し、内閣総理大臣などに送付しました

■ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

■地方財政の充実・強化に関する意見書

■義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

■すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

■2026年度北海道最低賃金改正等に関する意見書

■非核三原則の堅持と法制化を求める意見書

市議会だよりに掲載しきれなかった案件はHPで確認できます。



議決結果

■農業委員会委員の任命

同意

近藤 洋介さん
見上 貴信さん
阿波 一雅さん
菊入 等さん
馬木 逸男さん
荒井 優さん
宮武 努さん
水野 静也さん
尾崎 成宣さん
増田 貴志さん
佐々木弘昭さん
高瀬 慎司さん
大森 毅英さん
廣田 和也さん
五十嵐 剛さん
山田 淳さん
樺 勝洋さん
栗野 良寛さん
吉川 永充さん
石川 大輔さん

 賛否が分かれた議案		議員名（議席番号順）														議決結果▼
		伊藤美恵子	新田 旺	有働 正夫	村上 誠	松原やす子	佐々木一夫	大前 昭代	田畑 陽美	北村 薫	近沢 弘幸	鶴岡 恵司	宮澤 孝司	松本 雅祐	山本 時雄	
第2回定例会	令和8年度深川市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	●	●	○	○	○	－	○	○	○	○	可決
	深川市公平委員会委員の選任について	○	○	○	○	○	●	○	○	○	－	○	○	○	○	同意

※賛成=○、反対=●、近沢弘幸議長は採決に加わりません。

全国市議会議長会表彰

第102回全国市議会議長会定期総会において、本市議会より近沢議長、佐々木議員が全国市議会議長会表彰を受賞し、第2回定例会において表彰状を伝達しました。



左から近沢議長、佐々木議員

・近 沢 弘 幸 議員
(議員10年表彰)

・佐々木 一 夫 議員
(議員10年表彰)

農業委員会委員の任期満了に伴い、新たな委員として、農業に関し識見を有する27人を任命したいとの提案があり、全会一致で任命に同意しました。

山崎 和徹さん
高橋 淳一さん
光富 靖展さん
赤澤 晃光さん
久保田 仁さん
下坂多伊子さん
木根 和美さん

■人権擁護委員候補者の推薦

適任と答申

藤岡 順子さん
上田 景康さん

旭川地方法務局長から依頼がありました人権擁護委員の候補者として、藤岡順子さんと上田景康さんの推薦があり、全会一致で適任と答申しました。

第2回定例会で行った10人の議員の一般質問を紹介します。



おおまえあきよ 議員
「民主クラブ」

指定ごみ袋供給の見通しは 年内分は在庫を確保済み

◎ 中東情勢の影響により、ごみ袋の原材料不足や値上げが全国で相次ぐ中、早期の情報提供と危機管理が求められる。本市指定ごみ袋の原材料調達状況や在庫量、今後の供給見通しを含めた対応を伺う。

◎ 本市の指定ごみ袋は、石油由来の原材料を使用しており、事業者からは中東情勢の影響により原材料の確保が難しい状況と伺っていますが、年内分の在庫は確保しており、当面は安定的な供給が可能です。今後は、供給リスクへの対応と脱炭素の観点から、非食用米を使ったライスレジック製ごみ袋の試験導入を検討して

おり、引き続き正確な情報把握と適切な対応に努め、安定的な供給に万全を期す考えです。

子供のSNS利用への対応について

◎ SNSは友人関係の維持や情報収集などの利点もあるが、犯罪被害や依存、フェイクニュースといった深刻なリスクもある。こうした点を踏まえ、ガイドラインの策定に関する市の考えについて伺う。

◎ SNSの利用は、学校での取組や動画コンテンツの活用、広報紙での特集など様々な方法で家庭への情報提供を行っており、現時点では本市独自のSNS安全ガイドラインを策定する考えはありません。一方で、SNSに関する啓発は重要と認識しており、広報ふかがわ5月号の特集記事や国が発信する関連サイトを改めて市ホームページに掲載するなどし、学校や家庭への周知に取り組んでいきます。

広報ふかがわ5月号SNS利用に関する特集記事



ささきかずお 議員
「れいわ新選組」

電子クーポン高評価論拠は そのような事実はない

◎ 近隣他町が2万円から3万円超の給付を行う中、本市は5千円の電子クーポンであり、市民からは評判が悪いと聞いていたが、市長への手紙の回答では8割の市民から高評価を得たとした論拠は何か。

◎ 近隣他町は生活応援給付金を高額に設定し、さらに地域経済振興対策も兼ね地域商品券として給付したが、本市はなぜそうしなかったのか。また、商工団体との協議をせず、要請もなかったのか。

◎ 近隣他町は生活応援給付金を高額に設定し、さらに地域経済振興対策も兼ね地域商品券として給付したが、本市はなぜそうしなかったのか。また、商工団体との協議をせず、要請もなかったのか。

◎ 近隣他町は生活応援給付金を高額に設定し、さらに地域経済振興対策も兼ね地域商品券として給付したが、本市はなぜそうしなかったのか。また、商工団体との協議をせず、要請もなかったのか。

◎ 近隣他町は生活応援給付金を高額に設定し、さらに地域経済振興対策も兼ね地域商品券として給付したが、本市はなぜそうしなかったのか。また、商工団体との協議をせず、要請もなかったのか。

道民生活応援ポイント給付事業について：北海道HP



現在は北海道でも給付金事業が実施されています



うどうまさお 議員
「公政クラブ」

診療所休止による通院手段 現状維持に努め慎重に検討

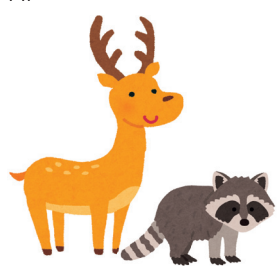
◎ 多くの方が利用してきた多志診療所が休止し、今後は深川まで通院する必要があるため、交通手段に不安を感じているという声が多くある。こうした状況を踏まえた市の考えと対策について伺う。

◎ 診療所休止後は、自家用車や公共交通機関を利用し、今後の深川まで通院する必要があるため、交通手段に不安を感じているという声が多くある。こうした状況を踏まえた市の考えと対策について伺う。

◎ 診療所休止後は、自家用車や公共交通機関を利用し、今後の深川まで通院する必要があるため、交通手段に不安を感じているという声が多くある。こうした状況を踏まえた市の考えと対策について伺う。

◎ 診療所休止後は、自家用車や公共交通機関を利用し、今後の深川まで通院する必要があるため、交通手段に不安を感じているという声が多くある。こうした状況を踏まえた市の考えと対策について伺う。

北海道鳥獣被害対策タスクフォースHP





まつもとまさひろ
松本雅祐 議員
「令和公明クラブ」

次世代農業実現への展望は 生産性の高い農業等に期待

令和8年3月に締結した包括連携協定により、ロボット技術や循環型エネルギーを活用した北海道初の次世代農業が始動する。担い手不足や労働力不足の解消、生産性向上など、今後の展望を伺う。

地域に取り込み、生産性の高い農業と経営の安定化、さらには新たな雇用創出につながることを期待しています。具体的には、深川東高校における屋内植物栽培ユニットの導入を支援し、生徒に次世代農業への関心や興味を高めるほか、収穫ロボットなどの導入に

よる作業負担の軽減や経営の安定化を図り、新規参入しやすい環境づくりにも取り組めます。

診療報酬改定による影響について

2年ごとに実施される診療報酬改定により、市民の医療費負担の増加や受診控え、継続的な治

療が必要な方への影響が懸念される。こうした課題について、市としてどのように認識しているのか伺う。

A 今回の改正により再診料や入院基本料が引上げとなる一方、薬代の自己負担は軽減される場合があります。また、所得の少ない高齢者や長期入

次世代農業の実現に関する包括連携協定締結式：市HP



包括連携協定の締結式

院患者は、負担の上限が設定されていることから、経済的影響は少ないと考えますが、療養病床の入院患者は、一般病床より影響が大きいと推測されます。なお、医療費の増加による受診控えや服薬控えについては、一概に想定することは困難です。



たばたはるみ
田畑陽美 議員
「民主クラブ」

持続可能なまちづくりを 理解促進や合意形成を図る

地域公共交通と連携したコンパクトなまちづくりは、市民生活の利便性に大きく関わる取組であり、市民の理解促進や合意形成が重要と考える。今後、どのように進めていくのか、市の考えを伺う。

地域は公共交通ネットワークを維持・確保することとしており、計画の策定に際しては、広報やホームページなどによる周知や市民説明会、パブリックコメントを実施してきました。今後も現計画の改訂の際には市民周知に取り組みほか、ワークショップなど、市民の意見を

取り入れる機会を設け、市民への理解促進や合意形成を図ります。

公共交通と公共ライドシェアの考え

人口減少や運転手不足により、地域公共交通を取り巻く環境はさらに厳しくなると見込まれる。地域公共交通の維持に向

け、公共ライドシェアを含む多様な交通手段の調査・研究を進める考えを伺う。

A 公共ライドシェアは新たな移動手段として期待される一方で、安全確保や運行管理、ドライバー確保、既存の公共交通への影響などの課題があります。本市の実情とし

て、効率的な運行が可能で、AIデマンド交通が最適と位置づけられており、今後も既存の公共交通との連携や役割分担を図りつつ、持続可能な交通体系の構築に向け、深川市地域公共交通活性化協議会の意見を踏まえながら取り組んでいきます。

深川市立地適正化計画：市HP



きたむら かおる
北村 薫 議員
「公政クラブ」

公園の環境整備について 遊具の更新や配置を見直す

市内公園の環境整備や遊具施設の点検は定期的に行われているのか。また、小さな子供が保護者と一緒に遊べる遊具が少ないとの声もあるが、こうした視点を踏まえた市の考えについて伺う。

おり、損傷が確認された場合には、速やかに修繕対応を行っています。現在、公園維持管理計画の策定を進めており、各公園の利用目的や特性を改めて整理し、施設のダウンサイジングを含めた遊具の更新や配置の見直しを検討しています。今回いただいた意見も踏まえ、

引き続き安全で快適に利用できる公園の維持管理に努めていきます。

国営農地再編整備事業について

基盤整備が未実施の農地は、今後の農家の減少を踏まえると農作業の大きな負担となることから懸念される。生産性向上

やコスト低減を図るには基盤整備が必要だが、本事業の概要と要請の経過を伺う。

A 本事業は、広域にわたる計画的な生産基盤の整備を行い、生産性の向上及び地域農業の展開方向に即した農業構造の実現を図るとともに、農業的土地利用と非農業的土

公園について：市HP



公園遊具のイメージ

地利用の整理により、農業振興を基幹とした総合的な地域の活性化に資するものです。本市においても今後の地域の持続的な農業経営に必要不可欠であることから、期成会や土地改良区、JAと連携を密にしながら、関係機関に対し要請活動を実施しています。



あきら
新田 議員
「民主クラブ」

部活動の地域展開について 今後具体的な検討を進める

◎ 少子化により、多くの地域で単独校による部活動の維持が困難になっている。部活動の地域展開は、子供たちの将来に関わる重要な取組と考えるが、本市における進捗状況と今後の展望について伺う。

部活動も多く、広域的な展開などは今後、具体的に検討していきますが、中学校体育連盟は地域クラブとして参加する種目もあり、地域展開を見据えた動きも始まっているため、関係者との協議により指導者の確保や移動手段、財源、責任体制などの課題整理を進めてい

ます。今後も国のガイドラインや本市の実情を踏まえ、子供たちの活動機会を持続的に確保できるよう努めていきます。

◎ 予約診療のキャンセル防止の取組は

医療DXの動向を注視しながら患者サービスの向上とキャンセル防止による経営への影響が軽減されていきます。今後とも患者の皆様が安心して受診できる環境づくりに努めるとともに、医療サービスの質の向上に取り組んでいきます。

部活動の地域移行
へ向けた取り組み
：市HP



医療サービス向上に取り組む市立病院



いとう み え こ
伊藤美恵子 議員
「民主クラブ」

情報格差を解消する対策は 効果的な手法を見極め支援

◎ パソコンやスマートフォンを使える人と使えない人との情報格差が問題になっている。デジタル化と並行して、デジタルに不慣れな方への支援策の整備が必要だと思うが、市の対策について伺う。

支援が重要と考える一方で、年齢や経済的格差、地域差、さらには個々の特性など、その背景にある課題は多様と受け止めています。今後はデジタル活用機会がさらに増えると考えますので、まずはデジタル機器やサービスに慣れていたことから、

効果的な手法を見極めながら、デジタルに不慣れな方への支援に取り組んでいきます。

◎ 水道のスマートメーターについて

地区への試験導入が予定されている。全市的な導入も視野に入れているのか、今後の展開について伺う。

深川市水道事業経営戦略



まつばら こ
松原やす子 議員
「日本共産党」

デマンド交通の市民説明は 市民説明会を複数回開催

◎ 社会環境の変化で交通空白地帯が生じる中、公共交通の確保・再構築が求められている。路線バス音江經由滝深線廃止後に予定されているAIデマンド交通の導入に際し、市民への説明について伺う。

線バス滝深線の代替交通としてAIデマンド交通の導入について説明し、一定の期待が寄せられていると受け止めています。今後は事業者と連携し、乗降場所の設定などについて地域と協議を進めるとともに、地域住民を対象とした利用方法に関する説明会を複数回開催す

るなど、きめ細やかな対応に努め、多くの方に利用される交通手段となるよう取り組んでいきます。

◎ 自衛隊への名簿提供について

おため、本人及び保護者に対し、事前に名簿提供の可否を封書で確認すべきと思うが、市の考えを伺う。

深川市地域公共交通計画



令和8年9月末に廃止予定の音江經由滝深線

掲載以外の質問項目

質問内容は、深川市議会YouTubeチャンネルやホームページの一般質問通告表で確認できます。

深川市議会
YouTube
チャンネル



一般質問
通告表



■大前 昭代 議員

- ・給食指導の現状と食育の取組について
- ・市立病院のサイバーセキュリティ対策について

■佐々木一夫 議員

- ・自治体システム標準化ガバメントクラウドについて
- ・市民生活に有効な市民団体への庁舎貸出等の支援・思想について
- ・障がいのある方の後期高齢者医療制度への移行の周知について
- ・各不正及び公正取引委員会の調査から見る工事落札率について
- ・農業基本法改正に伴う付帯決議について
- ・革新的新品種開発のための新法について
- ・稲生産における遺伝子組換え作物への移行について
- ・ふかがわ夏まつり会場について

■有働 正夫 議員

- ・悩み相談の対応について
- ・災害時の仮設トイレについて

■松本 雅祐 議員

- ・避難所の運営について
- ・まちなか振興について
- ・結婚支援及び出会い創出の取組について
- ・児童生徒のネット出席の活用について

■田畑 陽美 議員

- ・特定妊婦の支援と今後の課題について
- ・自転車の交通反則通告制度と道路環境整備について

■北村 薫 議員

- ・中東情勢の悪化による物価高騰の影響について

■新田 旺 議員

- ・ナフサ不足による市内経済への影響について
- ・まちなか交流施設「ふかふか」のシェアカフェ事業について

■伊藤美恵子 議員

- ・国勢調査速報値による人口減少の影響について
- ・児童生徒の目の健康について
- ・生理休暇の名称変更と取得促進について

■松原やす子 議員

- ・こども誰でも通園制度について

■山本 時雄 議員

- ・学童保育について
- ・移住・定住について



やまもとときお
山本時雄 議員
「令和公明クラブ」

歩道の整備について 安心な歩行空間に努める

市民から、市内の各所で歩道の砂利がむき出しとなっており、歩行に支障を来しているという話を聞いた。歩道の整備状況及び歩道のみを整備することは可能か伺う。

進めており、歩道の劣化や砂利の露出箇所は、規模に応じて早急に修繕を行っています。また、バリアフリー基本構想に基づく歩道整備は、車道のかさ上げが必要となり、車道との一体的な整備を要する場合がほとんどですが、歩道のみを整備についても現場の状況に応

じて柔軟に対応していきます。今後も、誰もが安心して通行できる歩行空間の確保に努めます。

に行動することが多いエゾシカによる被害を防ぐため、わなの活用など対策強化に取り組む考えを伺う。

没情報の把握やICTの活用による捕獲状況の可視化を進め、機動的かつ効率的な捕獲活動を展開するなど、体制の強化に努めます。今後も地域や関係団体と連携を図り、生産者が安心して営農を継続できるよう、エゾシカ被害の防止に取り組んでいきます。

深川市バリアフリー基本構想：市HP



整備された幅の広い歩道

計 報

松本雅祐議員 逝去

深川市議会議員松本雅祐氏（61歳）が、7月14日に逝去されました。

松本雅祐氏は平成27年6月の選挙で初当選され、以来3期11年にわたり市議会議員として活躍されました。この間、厚生文教常任委員長、予算審査特別委員長、複合施設整備特別委員長、監査委員など多くの重責を担われてきました。

また、市民の声に真摯に耳を傾けながら、福祉・医療・教育の充実をはじめ、市政の発展に大きく貢献されました。

ここに生前の御功績をたたえ、謹んで哀悼の意を表するとともに、心から御冥福をお祈り申し上げます。



市役所1階の電子掲示板では、定例会開会の1週間前から、会期日程をお知らせします。

会期日程は、定例会開会の1週間前に開催する議会運営委員会で決定します。会期日程の最新情報はホームページでお知らせします。



本会議は、いずれの日程も傍聴することができます。当日、市役所4階の議会事務局で受付しています。

9月
定例会の
予定

時間はいずれも 午前10時に開会予定です
日時は変更となる場合があります

28 (月)	18 (金)	17 (木)	16 (水)	14 (月)	11 (金)	10 (木)	9 (水)	8 (火)
本会議4日目	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	常任委員会	常任委員会	本会議3日目	本会議2日目	本会議1日目

問合先：深川市議会事務局内

〒074-8650 深川市2条17番17号
電話0164-26-2282（直通）



深川市議会YouTube
チャンネル



深川市議会
公式ホームページ

過去の市議会だより



市役所4階の議会事務局で配付しています。または、ホームページからも御覧いただけます。

バックナンバー

